

	実態と課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章中の「問い」と「答え」を意識しながら読み進めることは出来ているが、大事な言葉や文に着目して、段落ごとに書かれている内容をまとめることは難しい。 漢字学習は意欲的に取り組むが、文章を書くときに習った漢字を使っておらず、漢字の定着が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き始める前に「始め」「中」「終わり」の大まかな文章構成を捉えることが出来るような表や、構成メモを用意し、事柄の順序を考えながら内容をまとめる練習をする。 学習した漢字や言葉を文章の中で活用できるよう、漢字等の家庭学習を繰り返す。国語辞典や漢字辞典をさらに活用し、語彙力を高める。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 新しく始まった授業ということもあり、意欲的に取り組んでいる。板橋区の様子については、行ったことのある場所が、副読本に記載されているため興味関心が高い子が多く見られる。すでに知識のある児童とまったく知らない児童との差が大きい。 資料から必要な情報を読み取ることができる児童と苦手な児童の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習資料、パンフレット、ホームページなどのお知らせをクラスルームで共有し、興味関心を高める。 学習資料内の文章と写真を活用し、普段から資料を読み取る経験を増やしておくことで、文と資料を関係付けて読む力を育む。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 問題や文章の意味を正しく理解した上で演算決定することが苦手である。 既習を生かした応用問題の解決が難しい。 児童によって、基礎基本的な計算（かけ算や筆算）などが十分に定着していない。 コンパスを使用した作図は個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な文章問題に触れる中で、学習の中で鍵となる言葉に着目させ、言葉と演算決定が一致するよう繰り返し指導する。 問題解決にあたって押さえておかななくてはいけないポイントを確認し、解決の道筋をイメージさせてから、自力解決を行うことを繰り返す。 朝学習や家庭学習などの時間も活用しながら、繰り返し学習内容の定着に努める。 普段からコンパスを使う機会を増やすことで、コンパスの扱いに慣れるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験共に意欲的に取り組む児童が多い。観察に関しては繰り返し確認しながらすすめる、やり方に慣れてきている。 実験の過程がまだ定着していない。特に予想と実験計画、考察が定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き継続的に指導をしていく。 実験の度に、丁寧に確認しながらすすめていく。「疑問→予想→実験計画→結果→考察」の過程を必ず提示する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容を理解して歌おうとする意欲がある。正しい音程や発声の技能が追いついていない児童がいる。 様々な楽器に十分に触れる活動がやや不足している。 リコーダーへの興味関心が高く、良い音色で吹ける児童と、穴のふさぎ方や息の使い方が未熟で、自信の持てない児童との差が開きつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の冒頭に、「今月の歌」を歌い、歌詞の理解や発声・呼吸法、情景にふさわしい表現の仕方を指導する。 器楽の学習では、2学期以降、リコーダー以外にも、鍵盤ハーモニカ・木琴・鉄琴・キーボード・打楽器などに触れる活動を増やす。 協働的な学習や個別最適な学習をおこなえるよう、学習の形態を工夫する。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 題材に興味をもって意欲的に取り組んでいる児童が多く、積極的に楽しんで製作している。 一斉指導での理解が難しい児童も少なくないので、何をやるのがはっきりと分かり、見通しをもって活動できるようにする。 活動の最中に、口喧嘩がおきたり、言葉遣いが悪く、相手の気持ちを傷付けることなども、多々起きることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 前学年までの材料や用具についての経験を生かしながら、手や体を十分に働かせて活動させ、それぞれの児童のよさを見つけて褒め、励ます。 製作の手順やルールなどが見て分かるように、掲示物の情報を精選して掲示し、どの子にもはっきり分かるようにする。 児童の言動を注意深く見守り、ふさわしくない言動が見られた時は、コミュニケーションを学ぶ機会として、行動を振り返らせ、取るべき態度を学ばせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> どの運動にも意欲的に取り組んでいる。 めあての設定と、めあてに対しての振り返りの仕方を理解していない児童がいる。 「楽しく運動する」ために、規則を工夫したり、考えたことを伝えたりすることに課題がある。児童による差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレットの学習カードを使用し、いつでも、どこでも友達の考えを見たり、確認したりすることができるようにする。 規則の工夫は慣れるまでこちらで提示した物の中から選べるようにする。また、タブレットを活用することで自分の考えを交流しやすくする。